

令和元年度 第2回学校評価について

西戸山小学校では、今年度4つの重点目標（確かな学力の育成・豊かな心の育成・体力の向上・創意工夫ある教育、）を柱に具体的な取組を設定し、児童のよりよい成長を目指し、教育活動を推進してまいりました。

12月のアンケート調査について、ご協力ありがとうございました。教育活動の充実も含め、次年度から始まる新学習指導要領の全面実施を円滑に実施できるよう参考にさせていただきます。

つきましては、12月のアンケート調査の結果及び考察等を送付させていただきます。今後も引き続きご理解ご協力をよろしく願いいたします。なお、回答率81%でした。ご協力ありがとうございました。

尚、「()」は、児童アンケート、「〈 〉」は、保護者アンケートの「当てはまる」、「まあ当てはまる」の肯定的な回答の結果です。

No.1【ICT 機器を使用した学習】(94%) 〈72%〉

タブレットPCやプロジェクターなどを使っているので、授業が分かりやすい。

ICT機器を使用した学習については、高学年になると98%を超えた数値となっています。今後も、学年の発達段階を踏まえ、ICT機器の活用の更なる充実を図っていきます。保護者の方の数値が低いのは、学校がどのようにICT機器を活用しているかの情報が十分伝わっていないことが要因であると考えます。機会あるごとに、情報を丁寧に伝えていきます。

No.2【読書に関する取組】(91%) 〈88%〉

読み聞かせや学級文庫の活用など、読書に関する学校の取組は、読書を好きにさせている。

読み聞かせ等の取組については、よい評価を得ています。今後もこれらの活動を継続していきます。また、読解力を身に付けさせていくために、読書活動の時間の確保も図っていきます。

No.3【授業の工夫】(94%) 〈89%〉

学校の先生は、分かりやすい授業を行っている。

授業の分かりやすさについては、よい評価を得ています。しかし、「当てはまる」のみの回答になると66%になっています。今後は教員の研修や研究等の充実を図り、「当てはまる」を80%以上になるよう目指します。

No.4【外部人材】(78%) 〈85%〉

学校は、地域や専門家等から学ぶ機会をよくついている。

本校の教育活動は、専門家を含め地域等の方から、様々な教育活動において、多くのご支援をいただいています。今後も地域等と連携を図り、教育活動を推進していきます。児童の評価は80%に届いていませんが、3年生以上のみを集計すると、85%の児童が肯定的に評価しています。

No.5【体力向上】(77%) 〈78%〉

縄跳び、マラソン、スポーツテスト、スポーツギネス等の取組は体力づくりに効果がある。

学期ごとに、上記の運動に休み時間等を使って全校で取り組んでいます。児童のこの数値は、ここ数年大きな変動がありません。今後も、体育の時間を要として、運動に親しめる児童を多くするとともに上記の運動の継続と更なる取組の充実を図っていきます。

No.6【食育の取組】(80%) 〈85%〉

各教科等における教育活動、栄養士から出される給食だより等で食に対する意識を高めている。

食の意識を高めるために給食時の放送の充実を図ったり、教員の給食指導の研修を行ったりしてきたので。児童の数値が第1回目の調査より、3.5ポイント上がりました。今後も、意識を高める取組を充実させていきます。

No.7【学習準備】(79%) 〈74%〉

忘れ物などせず学習準備がしっかりできる。

学習の準備を怠らないことは学力向上のためには必要不可欠なことと考えます。小学校段階で、しっかりした学習準備ができるよう指導を行っていきます。ご家庭でも支援の仕方の工夫をお願いします。

No. 8 【学習規律】 (90%) <84%>

落ち着いて学習に取り組むことができる。

数値的には高かったのですが、90%のうち28%が「まあ当てはまる」でした。児童の意識は同じ「当てはまる」、「まあ当てはまる」でも、状況はかなり違いがあります。学校での集団生活を生かし、落ち着いて学習に取り組むという態度についての意識を一人一人にしっかりと育んでいきます。

No. 9 【意欲や自信をもって学ぶ】 (84%) <77%>

本校の教育活動は児童の意欲喚起や自信の育成につながっている。

目標をもち一生懸命取り組むこととその姿を教師や他の児童、保護者の方から評価されていることが、児童の自己肯定感につながっていると考えます。今後も一人一人の児童が自己肯定感を抱くことができるような学習活動を設定し、機会を捉えて活動の価値を高めることができるような声掛けなどを行います。

No. 10 【楽しい学校生活】 (87%) <92%>

学校生活全般にわたって楽しく生活している。

多くの児童が楽しく学校生活を送っていますが、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の児童が約1割います。児童の状況をよく見て丁寧な対応をしていきます。

No. 11 【きまりを守る】 (91%) <92%>

学校のきまりを守り、生活している。

多くの児童が学校のきまりを守って生活をしています。保護者の方からも、高い評価をいただいています。

No. 12 【あいさつ】 (90%) <80%>

あいさつができています。

学校においては、児童はあいさつ運動も含めがんばってあいさつを行っています。しかし、保護者の方の評価からは学校外でのあいさつが不十分であることが見受けられます。常にあいさつがよくできるよう、連携を深めていきます。

No. 13 【整理整頓】 (86%) <86%>

学校（教室）は、常に整頓され、清掃が行き届いている。

児童及び保護者の方の評価はほぼ同じであり、高い評価をいただきました。引き続き、どの学級においても、学習意欲が湧く使いやすく整理整頓がされている学校・教室を目指して対応していきます。

No. 14 【いじめ相談】 (79%) <54%>

学校はいじめ等の対応は信頼できる。

いじめ等の問題があれば関係する教員が連携を図り、内容によっては管理職も含めた対策会議を開いています。保護者の方の「わからない」と回答した数値が34%でした。これは、お子さんがいじめに関係したことがない保護者の方にとっては、学校の対応が見えないということであると考えます。いじめ等の対応については重要な課題であるので、丁寧に対応していきます。

No. 15 【安全な登下校】 (93%) <93%>

学校では、地域の人との連携を含め、登下校の安全についてしっかりした対応を図っている。

児童及び保護者の方とも非常に高い数値です。地域のご協力がよく理解されています。

No. 16 【主体性・豊かな心】 (72%) <88%>

本校の教育活動は、児童の主体性や豊かな心の育成に成果を上げている。

保護者の方の評価は高いのですが、児童の評価がそれ程でもありません。今後、児童に活動の目的意識をしっかりともたせて取り組ませています。

No. 17 【ネットリテラシー】 (77%) <83%>

家庭では、携帯電話やインターネットの利用について、適切に関わっている。

SNS等の活用については、情報モラルも含め危険が伴うことも含め具体的に伝え指導していく必要があります。特にご家庭での対応がとても重要となりますので、学校での指導も含め適切な情報を発信していきます。